

Q 5 : 文字指導について、小学校外国語活動ではどの程度まで扱うことができるのでしょうか。

A 5 : 外国語活動の指導においては、音声によるコミュニケーションを重視し、聞くこと、話すことを中心とする豊かなコミュニケーションを体験させることが大切です。アルファベットなどの文字の指導については、例えば、アルファベットの活字体の大文字及び小文字に触れる段階にとどめるなど、中学校外国語科の指導とも連携させ、児童に対して過度の負担を強いることなく指導する必要があります。また、外国語を初めて学習する段階であることを踏まえると、アルファベットなどの文字指導は、外国語の音声に慣れ親しんだ段階で開始するように配慮する必要があると考えます。

なお、国語におけるローマ字の指導については第3学年で行われることから、外国語活動よりも前の学年で既に指導がなされていますが、外国語にはローマ字にはない文字もある点には注意してください。